

名古屋市中村消防署より感謝状を受けました ～社員5名が一致協力した迅速な行動で救命に尽力しました～

AZ-COM丸和ホールディングス株式会社（本社：埼玉県吉川市、代表取締役社長：和佐見勝）のグループ会社で3PL事業（※1）を提供する株式会社関西丸和ロジスティクス（本社：京都府綾部市、代表取締役社長：吉井章、以下「関西丸和ロジスティクス」）は、この度、社員5名が業務中の一致協力した迅速な行動で救命に尽力し、このうち2名が名古屋市中村消防署より感謝状を受けました。

（※1）荷主に対し、その立場に立ったロジスティクスサービスを戦略的に展開する事業（一般社団法人 日本3PL協会）

関西丸和ロジスティクス EC名古屋物流センター（愛知県名古屋市）において、2023年11月20日（月）午前9時30分ごろ、商品の出荷作業を行っていたAさんが突然意識を失って倒れ、呼吸もない状態となりました（のちに心筋梗塞が原因と判明）。報告を受けた社員2名は、ただちに救急車を手配し、胸骨圧迫（心臓マッサージ）やAED（自動体外式除細動器）の使用を早期に開始、別の社員3名も加わり、救急車の到着まで連携して行動しました。Aさんは病院に搬送されましたが一週間後に退院し、その後社会復帰を果たしました。この一連の対応について「一致協力した迅速的確な行動が救命の連鎖に繋がり救命した功績」として名古屋市中村消防署長 佐藤圭治様より2024年1月5日（金）にEC名古屋物流センター内で感謝状を授与していただきました。併せて関西丸和ロジスティクスからはEC名古屋物流センターに対し、今回の功労を表彰し記念品を贈りました。

当該物流センターは、AEDを複数台設置し、勤務する社員全員が救命講習を受講するなど日頃より急病人等の発生に対する備えを行っており、今回も各自が落ち着いて自主的に行動し役割分担など連携して対応することができました。今後も当社グループでは、AEDの増設、救命講習の受講推進など、引き続き安全・安心な職場づくりに取り組んでまいります。

<救命行動を行った社員と役割分担>

橋本龍一さん…胸骨圧迫、AED使用
稲垣佑真さん…救急車の要請、誘導
成田大輝さん } 上記2名からの指示を受け、
宮本和季さん } Aさんへの声掛け、AED準備、
芳澤明夏さん } 救急車の誘導等の補助的な対応



感謝状授与式後の記念撮影



実際に使用したAED

<感謝状授与式の際のコメント>

【名古屋市中村消防署長 佐藤圭治様】

1月1日に起きた能登半島地震の被災地に、名古屋市消防局からも緊急消防援助隊として職員を派遣し、懸命に救助活動等を行っております。我々消防は緊急時には全力で駆け付けますが、皆さん一人ひとりが緊急時には救命する当事者なのだという意識を常に心の片隅に持っていてください。

皆さんご存じのとおり、時間の経過とともに救命率が低下してしまいますが、今回は救命講習の受講経験のある皆さんにより、事故発生からすぐに対応していただいたことで、尊い命を救うことができました。今後も継続して救命講習を受講していただくなどにより、いざというときの救命の連鎖に繋げていただきたいと思います。

【株式会社関西丸和ロジスティクス EC名古屋物流センター 班長 橋本龍一】

AEDを実際に人で使用するのは初めてでしたが音声の説明のとおりに行きついて冷静に対応できました。講習を受講したり他社の事例を聞いていたので「いつか起こるかもしれない」と日頃から意識できていたからだと思います。他にも当物流センターではセーフティ担当者を配置するなど安全に対する意識を強く持ち、定期的な社内ミーティングの実施やお客様（荷主企業）との連携で安全衛生体制を構築しています。今後も物流センター一丸となって安全・安心な職場づくりに努めます。